

アンケート結果

(太字が回答と集計結果。客観性を確保するためアンケートは無記名で行われた)

物理学ゼミナール（観測的宇宙論入門）平成23年度冬学期（受講者計4名）

1. 「宇宙論入門」が教科書だったことは

a. 適切だった **4名**

b. 不適切だった **0名**

この場合どの教科書が良いか？「現代宇宙論」[松原]？洋書？) _____

2. 関連論文を教材にしたことは

a. 適切だった **4名**

b. 不適切だった **0名**

この場合、何が問題だったか？（論文が難しいなど） _____

2. プレゼンを自分で行ったこと、議論に参加した事などは

a. 有益だった。（この場合、具体的に何を学んだか？） **3名**

- ・ 基本的なプレゼンの流れや、議論のポイントの見つけ方
- ・ プレゼンの最初と最後にまとめをすること
- ・ 自分で理解するのと他人に説明するのは違う

b. 特に役立たない **0名**

3. 本ゼミナールでどのトピックが一番面白かったか？（記述自由、複数可）

・ Ia 超新星の観測と CMB の観測を合わせる事で Ω を決定できるということが興味深かった。

・ ダークマターとバリオンの量 (Ω_{dm} , Ω_{bary}) を複数の方法で求めること。

・ 宇宙膨張の加速とその観測的証拠、特に SNe, CMB, BAO の信頼領域が重なっている図。

・ OPERA 実験、構造形成

・ インフレーション理論

4. 全体を通して本ゼミナールの内容に

a. 満足 4名 b. 普通 0名 c. 不満 0名

5. 来年度以降改善すべき点などありましたら、以下自由に書いて下さい。

・論文は教科書で関連する章が終わった直後などにタイミングをあわせるとよりわかりやすいと思いました。

・テキストがちょうど良かった。松原さんのものもあると時々便利だった。

・「現代宇宙論」「松原」以外で調べるのに使えそうな本を紹介するとよいと思います。宿題はほとんどインターネットで調べる事になりましたが、それでも分からないことがありました。